

愛媛県林材業振興会議 御中

平成 24 年 5 月
伊藤建築設計室二級建築士事務所
伊藤正孝

基礎検討ツールの作成について

拝啓 時下ますますご清栄のことと存じます。平素はひとかたならぬご厚情にあずかり、心より御礼を申し上げます。

さて、県産材の利用促進を図るためには、木造住宅の横架材にスギが使われるような環境整備を行うことが必要だと考えられることから、木造横架材断面算定ツール”はりけたくん”を開発し普及活動を行ってきました。

はりけたくんは、既に冊子として作成・配布されているスパン表と標準単価表を Excel 上で連動させ、スギやヒノキを用いた場合の断面検討結果と単価が表示されるというもので、木造住宅設計者が県産材を利用した住宅計画を行う際のサポートの役割を果たします。

しかし、実際の木造住宅設計では、材料費、人件費などのコストが重要視され、木材は低価格重視、構造計画や積算といった設計業務は必要最小限になっています。そのようななかで、はりけたくんを使って県産材の利用に取り組むことは、実際の業務からみると”余分な業務”として扱われがちです。

さらに、はりけたくんそのものが、横架材の断面検討に限定されていて、その他の構造検討（壁量計算、水平構面検討、基礎検討、等）が行えないことも、余分な業務という認識に繋がってしまうことは否定できません。

ところで、財団法人 日本住宅・木材技術センター”木造軸組工法住宅の横架材及び基礎のスパン表”では、横架材の検討と基礎の検討が合せて扱われています。

また、はりけたくん開発時のパブリックコメントでは民間の建築確認申請審査機関の担当者から、「べた基礎の検討は行えないのか」といったご意見をいただきました。

横架材の検討に加えて、基礎の検討を行えることが木造住宅設計業務での余分な業務という認識改善に繋がるのではないかと考えます。

そこでこのたび、基礎検討ツールを新たに作成しました。はりけたくんと連動については、はりけたくんは愛媛県林材業振興会議が配布元であり無断で改変することができませんので、基礎検討ツールはあくまで個人で作成したものという位置づけです。はりけたくんで入力した情報を用いて、再度基礎検討ツールに入力しなおすことで間接的に連動することになります。

はりけたくんの普及支援に基礎検討ツールが役立ち、はりけたくんの目的である県産材の利用促進が図られることを心より願っております。

敬具